



# 医療センター



## 小児循環器に特化した外来診療

### 小児科のご紹介

当科は小児循環器に特化した外来診療を行っており、日本小児循環器専門医修練施設および日本肥満学会認定肥満症専門病院として毎日循環器外来を行っております。入院診療については、感染症・喘息・川崎病などの一般小児疾患にも対応しております。

#### 【診療体制】

現在、常勤医師2名、時短常勤1名、非常勤2名で診療を行っています。残念ながら昨今の小児科医師不足の影響により、4月から常勤1名減の予定で入院診療は縮小せざるを得ない状況です。しかし、毎日の小児循環器外来は継続いたしますので、心雑音、動悸、胸痛など、少しでも気になる症例がございましたら、ご紹介のほどよろしくお願い申し上げます。

#### 【診療対象疾患】

小児循環器は新生児から思春期、成人先天性疾患まで、先天性発達心臓病・不整脈・心筋症・小児肥満・起立性調節障害(立ちくらみ、めまい、失神)など様々な疾患を診療しています。発達心臓病は心房中隔欠損などの単純疾患から、単心

室・フォンタン手術後など複雑心臓病まで、ほとんどが助かるだけでなく学校で普通に体育ができる時代となっています。世界で日本だけ新入生全員に実施されている学校心臓検診において当院は鹿児島の中心的な役割を担い、小児循環器学会など学会活動を含め、大学・市立病院・生協病院と連携し、小児循環器診療を行っています。鹿児島県でも心筋症、肺動脈性肺高血圧などの患者を症状出現前に発見できており、重症症は心臓移植まで無事辿り着いています。

また、コロナ禍以降は起立性調節障害に伴う不登校が急増しています。便利すぎる世の中(寝転がってスマホ、ベッド、洋式トイレ)、優すぎる社会(立たされることがない)もあって、10分と立ってられない、朝起き上がることができないお子さんが増えているようです。起立性調節障害

にも起立直後性低血圧、体位性頻脈、血管迷走神経性失神など様々なタイプがあり、生活指導が中心ですが、薬物治療も行っています。午前中の受診が難しいお子さんには、午後診療も可能ですのでご相談ください。今後ともよろしくお願い申し上げます。

#### 【外来担当医】

- 田中：月～金曜日(循環器外来一般)
- 二宮：水曜日以外(不整脈、心筋症、小児肥満)
- 吉永：金曜日(QT延長、心筋症、小児肥満)

#### 【2025年実績】

- 小児心エコー 1,165件
- 24時間ホルター心電図 729件
- トレッドミル運動負荷心電図 38件

歯科口腔外科は、現在歯科医師2名、歯科衛生士1名、看護師2名、医療補助・受付各1名のスタッフで診療を行っています。主に当院で手術予定の外来患者と入院患者を対象とした周術期口腔内管理を専門に行っています。

## 主な診療内容

### がん治療中の口腔管理

がん手術の前後や、化学療法・放射線療法による口内炎などの予防・管理を行い、術後合併症（誤嚥性肺炎や局所感染症）のリスク軽減を目指すとともに、治療後は地域のがん診療連携登録歯科医院とも連携し、継続した口腔ケアを支援しています。

### 心臓血管手術前後の口腔管理

感染性心内膜炎など術後合併症を予防するため、手術前に歯科治療や口腔衛生改善を実施しています。また、口腔内の感染源を探索し抜歯等の処置を行っています。

### 入院患者さんの口腔ケア

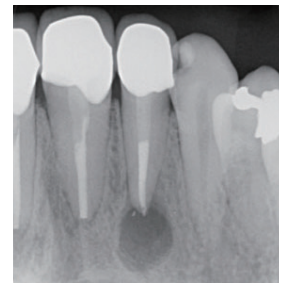
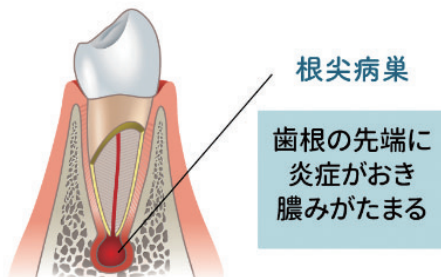
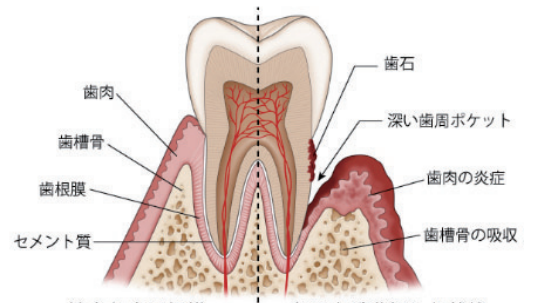
脳血管障害やICU入室中の方など、自力で口腔ケアが難しい患者さんに対して、週1回（火曜日午後）口腔ケアラウンドで専門的な口腔ケアと指導を提供し、日々のケアを支援しています。

## 全身疾患と口腔内疾患

歯は上皮を貫通して顎骨に植立しているため、歯に関連する感染源は、顎骨と歯の間隙、あるいは歯髄が存在する根管を経由して顎骨内に直接到達します。

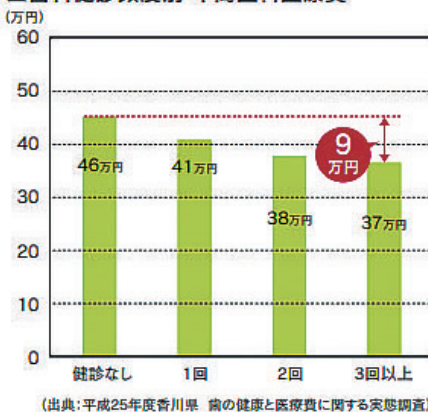
また、顎骨を被覆する口腔粘膜は薄いため、咀嚼などの日常活動による損傷しやすい特徴があります。口腔には800種類以上の常在菌が存在し、歯性感染症のほとんどが常在菌に起因しています。う蝕により歯髄が感染し、根管から根尖孔を経由し顎骨に根尖病変を形成することを根尖性歯周炎と呼び、通常は慢性的に進行しますが急性化すると口腔内・外への膿瘍形成や菌血症を起こします。

さらに口腔内環境による全身への影響とそれに伴う医科医療費の関係も多数報告されています。



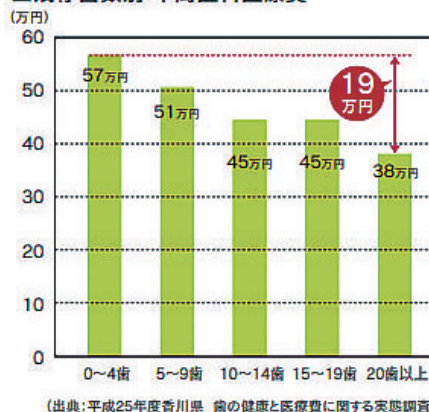
- 定期的に歯科検診を受けている人ほど医科医療費が減少。  
→年3回以上の検診で9万円減少。

■ 歯科健診頻度別 年間医科医療費



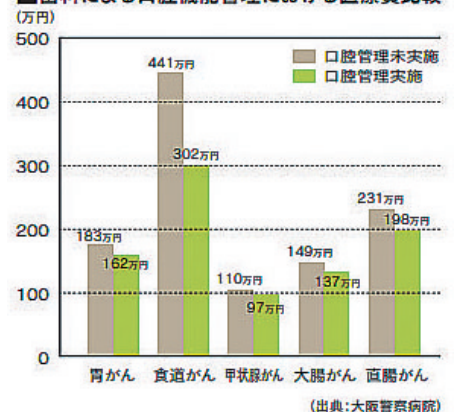
- 歯の本数が少ない人は医科医療費が高くなる傾向がある。  
→歯の本数が4本以下の人は20本以上ある人に比べ年間医療費が19万円高い。

■ 残存歯数別 年間医科医療費



- がん手術に際して口腔機能管理を行えば医科医療費が15%減少。

■ 歯科による口腔機能管理における医療費比較



ご不明な点や相談事がありましたらお気軽に歯科スタッフまでご連絡ください。(出典:令和3年福岡県歯科医師会パンフレット)

当院眼科では眼科専門医1名、視能訓練士1名、看護師1名の体制で診療を行っています。主に糖尿病網膜症などの全身疾患に合併する眼疾患を診療していますが、近年は抗がん剤治療に伴う眼副作用を診療する機会が増加しています。眼の副作用は見落とされやすい一方でQOLに大きな影響を与える可能性があるため注意が必要です。表1に抗がん剤による眼副作用の代表例を示します。

### 前眼部にみられる主な副作用

前眼部では、涙道障害、角膜障害、睫毛異常などが認められます。特にS-1(テガフル・ギメラシル・オテラシル配合剤)では角膜障害や流涙が比較的多くみられることが知られています。長期投与では涙道狭窄を生じ、常に涙があふれる状態になることがあり、早期からの点眼治療や必要に応じた涙道処置が有効です。また、タキサン系薬剤やフルオロウラシル系薬剤でも涙道狭窄による流涙が生じる場合があります。タキサン系薬剤では睫毛脱落、エルロチニブ、ゲフィチニブでは睫毛乱生や長毛化を生じることがあります。

### 後眼部にみられる主な副作用

後眼部では、網膜障害、ぶどう膜炎、視神経障害などが生じることがあります。パクリタキ

セルは囊胞様黄斑浮腫を引き起こし、視力低下を招く場合があります(図1a)。BRAF阻害薬(ダブラフェニブ、エンコラフェニブ)やMEK阻害薬(トラメチニブ、ピニメチニブ)では、黄斑部の漿液性網膜剥離(図1b)が報告されています。自覚症状が乏しい場合もあるため、定期的な眼科検査が必要です。さらに、免疫チェックポイント阻害薬(ニボルマブ、ペムプロリズマブ、イピリムマブ)では、免疫反応の亢進によりぶどう膜炎、強膜炎、視神経炎などの炎症性疾患が起こることがあります。特に悪性黒色腫の治療では、原田病様のぶどう膜炎(図1c)を発症しやすい傾向がみられます。まれではありますが、白金製剤やクリゾチニブなどによる視神経障害も報告されています。

最近発売された抗がん剤の中には、高頻度

で眼障害が発現するため、投与前後の眼科検査が必須とされる薬剤もあります。抗がん剤による眼副作用を早期に発見・適切に治療し、重症化を防ぐよう処方医や薬剤師と連携し、がん治療を継続しながら患者さんのQOLを維持できるよう努めてまいります。

図1

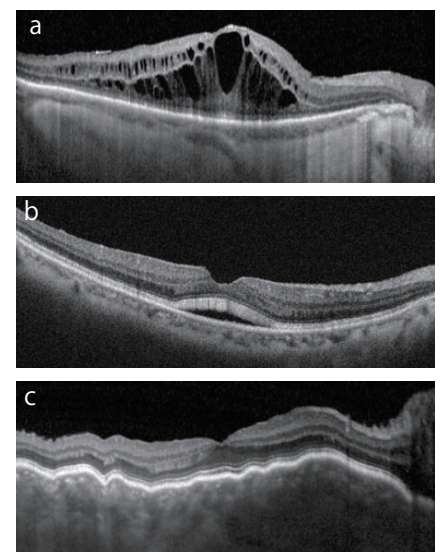


表1 抗がん剤と眼副作用

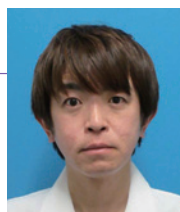
	前眼部			後眼部		
	涙道障害	角膜障害	睫毛異常	網膜障害	ぶどう膜炎	視神経障害
細胞障害性抗がん剤	S-1 フルオロウラシル パクリタキセル	S-1 パクリタキセル	タキサン系	パクリタキセル		シスプラチン カルボプラチン
分子標的型抗がん剤		エルロチニブ トラスツズマブ	エルロチニブ ゲフィチニブ	MEK阻害薬 BRAF阻害薬	BRAF阻害薬	クリゾチニブ
免疫チェックポイント阻害薬					ニボルマブ ペムプロリズマブ イピリムマブ	
ホルモン療法薬	エンザルタミド			タモキシフェン		



## 新任医師のご紹介

麻酔科

内田 陽治



●2026年1月より麻酔科に赴任いたしました内田陽治と申します。鹿児島医療センターでの勤務は2年ぶり2回目となります。地域医療へ貢献できるような働いて働いて働いて働いて、参ります。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

麻酔科

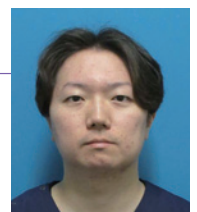
石塚 香名子



●2026年1月より麻酔科に赴任しました石塚と申します。前任地は鹿児島厚生連病院でした。患者さんに安全な麻酔が提供できるよう努めたいと思います。鹿児島医療センターでの勤務は初めてで不慣れな点も多く、毎日皆さんに助けていただくことばかりです。ご迷惑をおかけするかと思いますが、頑張りますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

糖尿病・内分泌科

福西 慧



●この度、12月より鹿児島医療センターの糖尿病・内分泌内科に着任いたしました、福西慧と申します。

私はこれまで、総合内科医として数年間、地域の様々な病院で勤務してまいりました。その中で、幅広い疾患に対応する経験を積むと同時に、患者様一人ひとりに寄り添う医療の重要性を深く学びました。

今後は、この経験を活かし、所属する糖尿病・内分泌内科において、専門知識と技術をさらに深め、皆様の健康と安心に貢献したいと考えております。生活習慣病の予防や治療を通して、地域医療の質の向上に努める所存です。

新たな環境で、皆様との出会いを心待ちにしております。皆様のご期待に応えられるよう、誠心誠意、職務に励んでまいりますので、温かいご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願ひ申し上げます。

「心筋肥大」を、ただの加齢や高血圧のせいだと見過ごしていませんか？ 経過観察とされている症例の中に、実は早期診断と適切な治療で予後が劇的に改善する疾患が隠れていることがあります。

1. 閉塞性肥大型心筋症(HOCM):  
待望の新薬が登場

これまで対症療法が中心だったHOCMにおいて、現在は疾患特異的治療薬(mavacamtenなど)が使用可能です。左室流出路の狭窄を改善することで、息切れなどの症状軽減、入院リスクの低下、運動能力の向上が期待できるようになりました。適切なタイミングでの治療開始が非常に重要です。

2. ATTRアミロイドーシス:  
早期発見が予後を左右

「高齢者の心肥大」や「原因不明の心不全(HFpEF)」として見逃されやすい疾患ですが、早期に治療(タファミジス等)を導入するほど高い効果が得られます。99mTc-PYPシンチグラフィにより、体への負担が少ない形で確定診断を行うことが可能です。

見逃しのないためのチェックポイント

次のような特徴を持つ患者さんは、ぜひ当科へのご紹介をご検討ください。

- 検査値の異常:心エコー・心電図での左室肥大、BNP・トロポニン高値
  - 自覚症状:原因不明の息切れ、失神、めまい
  - 合併症・背景:高齢 + 手根管症候群や脊柱管狭窄症の既往(ATTRを強く疑う兆候です)、家族歴あり
- 当科での包括的な精査とサポート
- 鹿児島医療センター 第2循環器科では、最新の診断技術を駆使して専門的な評価を行っています。
- 精密検査:ストレイン解析(心エコー)、心臓MRI(LGE/T1 mapping)、遺伝子検査(HCM)
  - 確定診断:99mTc-PYPシンチによるATTRの診断
  - 治療提案:新規治療薬の適応評価、重症度に応じた最適な治療戦略の策定
- 早期の専門的介入が、患者さんの未来を大きく変えます。「原因がはっきりしない心筋肥大」でお困りでしたら、まずは一度ご相談ください。

心筋肥大の患者さん、見逃していませんか？

- 心エコー・心電図にて左室肥大を指摘
- 原因不明の息切れ、失神、めまい
- HFpEFで説明困難な心不全症状
- 手根管症候群・脊柱管狭窄症患者
- 高BNP, troponin, 家族歴あり

できる治療があります。

閉塞性肥大型心筋症      ATTRアミロイドーシス

早期診断治療介入が患者を救います。是非ご紹介ください。

鹿児島医療センター 第2循環器科

鹿児島医療センター臨床研究部(KMC-ICR:Kagoshima Medical Center, Institute for Clinical Research)は、「患者さんの幸福のために、誠実で透明性の高い臨床研究を推進し、当院発のエビデンスを創出して、医療の発展に貢献する」ことをMission(使命)として掲げています。Missionとは、組織が何のために存在し、どこを目指すのかを示す“軸”であり、私たちのすべての活動の出発点です。

一方、Credo(クレド)は、そのMissionを日々の現場で実現するために、臨床研究部のスタッフが共有している価値観・行動指針です。KMC-ICRでは、誠実さ(Integrity)と透明性(Transparency)を基盤に、研究者を支える姿勢(Support)、チームで成果を生み出す協働(Collaboration)、科学的妥当性の確保(Scientific Rigor)を重視しています。加えて、研究成果や努力が正当に評価され、その成果が院内外に共有される仕組みづくり(Fairness & Sharing)を大切にしています。

また、研究者を縛ることなく、安心して挑戦

できる研究環境を支えるため、心理的安全性を大切に、私たち自身も学び続けながら支援にあたっています。

当部門の主な役割は、医師・医療スタッフが安心して臨床研究に取り組める環境を整えることです。研究相談から研究計画作成、倫理・法令遵守の確認、研究実施支援、成果発信に至るまでを一貫して支援し、企業治験や医師主導治験の推進にも積極的に関与していま

す。これから研究に取り組もうとする方の背中をそっと後押ししながら、研究が安心して続けられるよう見守る、そんな「そっと支える」役割を大切にしています。

KMC-ICRは今後も、診療科・多職種・地域医療機関と連携しながら、科学的妥当性と社会的信頼性を兼ね備えた臨床研究を推進し、臨床のすぐそばから、鹿児島、そして全国・世界へと価値ある医療エビデンスを発信していきます。



図：KMC-ICRのMissionとCredo

スタッフは管理栄養士・栄養士・調理師で構成されており、委託スタッフを含め約40名が在籍しております。主な業務は、臨床栄養業務と給食管理業務に大別されます。今回は、その中から最近の取り組みをご紹介します。

**臨床栄養業務：栄養管理や栄養指導、栄養相談など**

昨年2月より、ようやくGLIM基準を用いた栄養評価へ切り替えることができました。全入院患者に対し、看護師が栄養スクリーニングを行い、低栄養リスク者を抽出、管理栄養士が栄養状態を評価し、定期的な再評価につなげます。重症低栄養や中等度以上のリスクがある場合などは、NST介入対象となります。このように、多職種で継続した栄養管理を行う体制を整え、低栄養患者の早期発見と栄養改善に努めています。

また、栄養指導では肥満外来や腎臓内科外来にて InBody を用いた体組成測定を実施しています。筋肉量や体脂肪量の増減、水分バランスなど視覚的にとらえることができるため、患者様の行動変容を促すだけでなく、スタッフのモチベーションアップにもつながっています。食事療法の押し付けではなく、患者様が日々の生活の中で無理なく実行できることを提案し、実施できるようサポートさせていただきます。

**給食管理業務：入院患者様の食事提供(献立作成、食材発注、調理業務など)**

「病院食≠おいしくない」というイメージを払拭するため、スタッフ一同、献立作成や調理業務に切磋琢磨しています。今年度の嗜好調査では、「味が薄くておいしくないという噂だったが、おいしく食べられた」や「おいしくないイメージだったが、素材の味を生かしていた」「薄味でもおいしく食べられる工夫がしてある」などの嬉しいご意見が増えています。



2026年 おせち料理

病院のホームページに、「管理栄養士のワンポイントクッキング」として、病院食のレシピを掲載しており、定期的にアップしていく予定です。お役にいただけたら幸いです。

これからも栄養管理室スタッフ一同、患者様の栄養管理に誠心誠意努めてまいります。

**管理栄養士のワンポイントクッキング♪**



みなさん、こんにちは！ 管理栄養士の山之内と申します。ビタミンDは、日光を浴びることで皮膚で生成され、「サンシャインビタミン」とも呼ばれています。秋から冬へと日照時間が短くなるこれからは、食事からのビタミンDの摂取をより意識してみましょ！魚類、キノコ類、卵等にビタミンDが豊富に含まれます。今回は、減塩で簡単にできる魚のパン粉焼きをご紹介します。

**\* 食卓に魚料理を増やそう！**

**減塩！ヘルシー！ 魚のパン粉焼き\***

**材料(2人分)**

- 鮭…60g×2切
- 塩…1.0g(ふだつまみ)
- こしょう…少々
- ◎薄力粉…6g(小さじ2弱)
- ◎卵…20g(1/2個弱)
- パン粉…20g(大さじ2)
- オリーブ油…4g(小さじ1)
- (お好みで減塩ソース…5g)

2人分しか作らないので、卵がもったいないと感じる場合は、◎の材料をマヨネーズ 12g(大さじ1)へ変更しても作ることができます！



**栄養成分(1人分)**

- エネルギー…217kcal
- たんぱく質…1.6g
- 脂質…13.6g
- 炭水化物…10.1g
- 食塩相当量…0.8g
- (※減塩ソースを含む)

**作り方**

- ① 魚に塩・こしょうで下味をつけ、薄力粉をまんべんなくまぶす。
- ② ①に卵をつけ、パン粉をつける。
- ③ クッキングシートにオリーブ油をぬり、②の魚を乗せる。
- ④ オープン200度で12分焼く。(アルミホイルを敷いたフライパンやオーブントースターでもOK！)

**ワンポイントアドバイス♪**

- ・好きな魚や鶏肉などに変えてアレンジすることができます。
- ・オープンの場所によっては焦げやすいので、様子を見てアルミホイルを上にかぶせて焼いてください。



文責：栄養管理室 山之内知代



TOPIC 4 第19回 脳卒中市民講座を開催しました

2025年12月6日(土)鹿児島県医師会館において「血圧を制する者は、脳卒中を制す！一寝たきりや介護状態にならないために」と題した脳卒中市民講座を開催し、300名を超える方々に参加いただきました。共催、後援各所、開催にご理解頂きました連携先ご施設の皆様にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

今後も地域の皆さまの健康づくりに役立つ情報をお届けできるよう講座を企画してまいります。



# 外来診療担当表2026年3月

診療科		月	火	水	木	金
血液内科	初診	大塚 真紀	原口 浩一	福徳 聡	大塚 真紀	大渡 五月
	再診	大塚 真紀	大塚 真紀	大渡 五月	大塚 真紀	大渡 五月
	移植後フォローアップ外来※	血液内科医師及び看護師 (完全予約制)				
糖尿病・内分泌内科		郡山 暢之	児島 奈弥 和田 華菜子	郡山 暢之	西尾 善彦 平原 涼太郎	郡山 暢之
糖尿病療養指導外来※		糖尿病看護認定看護師				
消化器内科	消化管・胆膵	福森 光 藤本 敦	福森 光 田平 悠二	福森 光 藤本 敦	「処置日」	福森 光
	肝臓	櫻井 一宏	森内 昭博	櫻井 一宏	森内 昭博	櫻井 一宏
腎臓内科		古庄 正英 外山 裕貴 (CKD連携外来)	腹膜透析外来	「手術日」	古庄 正英 倉八 孝行 (CKD連携外来)	外山 裕貴 (第2金曜以外) 正英 (第2金曜のみ)
第一循環器内科		片岡 哲郎 茶園 秀人 有村 俊博	片岡 哲郎 高崎 州亜	茶園 秀人 今村 春一 中島 均	福宿 愛	片岡 哲郎 高崎 州亜 向井 麟太郎
第二循環器内科 *弁膜症外来 火曜日		園田 幸一郎 中別府 麻里	東 健作 平峯 聖久 後藤 淳一	藤田 正浩	石川 裕輔 伊集院 駿 田中 康博	藤田 正浩 馬場 善政
不整脈治療科		塗木 徳人	塗木 徳人	蔡 榮鴻	二宮 雄一	塗木 徳人
脳・血管内科		松岡 秀樹 濱田 祐樹	松岡 秀樹 浜田 恭輔 岩元 佳奈	松岡 秀樹 佐藤 健朗	松岡 秀樹 濱田 祐樹	松岡 秀樹 佐藤 健朗 川畑 裕太郎
小児科 *心臓健診 月曜日～金曜日		田中 裕治 長濱 潤 二宮 由美子 石川 香織	田中 裕治 長濱 潤 二宮 由美子	田中 裕治 長濱 潤 石川 香織 (午前中)	田中 裕治 長濱 潤 二宮 由美子 石川 香織	田中 裕治 二宮 由美子 吉永 正夫 石川 香織 (午前中)
放射線科	放射線治療	西森 宏雄		西森 宏雄	西森 宏雄	西森 宏雄
	画像診断 CT・MRI・RI	井手上 淳一 鮎川 卓朗	井手上 淳一 鮎川 卓朗	鮎川 卓朗	井手上 淳一 鮎川 卓朗	井手上 淳一 鮎川 卓朗
心臓血管外科		向原 公介		峠 幸志		永富 梅二 寺園 和哉 (隔週交代制)
外科・消化器外科			塗木 健介 嶋田 浩徳 佐竹 霜一		塗木 健介 嶋田 浩徳 佐竹 霜一	
脳神経外科 *水曜日は、手術日のため外来診療休止		橋渡 貴昭	橋渡 貴昭	「手術日」	橋渡 貴昭	井上 恵理
婦人科 *完全予約制		神尾 真樹 永田 真子 東 拓郎 磯道 拓人	神尾 真樹 永田 真子 東 拓郎 磯道 拓人	「手術日」	神尾 真樹 永田 真子 東 拓郎 磯道 拓人	神尾 真樹 永田 真子 東 拓郎 磯道 拓人
耳鼻咽喉科 *完全紹介制 (初めてのの方は医師の紹介が必要です)		松崎 勉 西元 謙吾	「手術日」	松崎 勉 西元 謙吾	「手術日」	松崎 勉 西元 謙吾
泌尿器科 *火曜日は、手術日のため外来診療休止		川平 秀一郎	「手術日」	川平 秀一郎	川平 秀一郎 鹿児島大学病院医師	川平 秀一郎
皮膚腫瘍科		松下 茂人 青木 恵美 戸澤 貴久 島田 邦彦	「手術日」	松下 茂人 青木 恵美 岩田 昌史 戸澤 貴久	「手術日」	松下 茂人 青木 恵美 岩田 昌史 生駒 宗禎
眼科 ※ 外来診療のみ		中尾 久美子 午後 休診	中尾 久美子	午前 休診 中尾 久美子	中尾 久美子	中尾 久美子
歯科口腔外科		中村 康典 大河内 孝子	中村 康典 大河内 孝子	中村 康典 大河内 孝子	中村 康典 大河内 孝子	中村 康典 大河内 孝子
専門外来	医師	緩和ケア外来 松崎 勉		腹水外来 櫻井 一宏		がんゲノム医療相談外来 鈴木 紳介
	看護師	フットケア外来 糖尿病看護認定看護師	ストーマケア外来 皮膚・排泄ケア認定看護師	リンパ浮腫外来 リンパ浮腫指導技術者	ストーマケア外来 皮膚・排泄ケア認定看護師	
セカンドオピニオン外来※		循環器疾患、心臓血管疾患、脳血管疾患、がん、悪性新生物、血液疾患				
マルチモビリティ外来※		第2循環器内科	第1循環器内科	脳血管内科	腎臓内科	消化器内科
『健康診断』			第1循環器内科	第2循環器内科		脳・血管内科
受付 午前8:45～10:00						

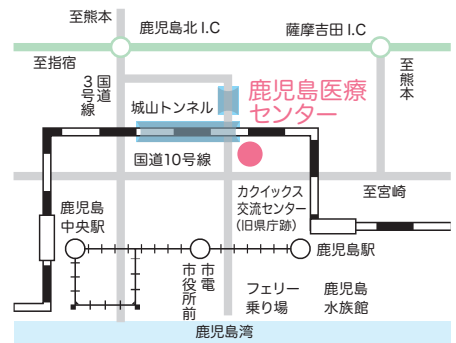
- 受付時間 / 午前8時45分から11時00分まで ● 診療時間 / 午前8時45分から午後5時15分まで※ただし、急患についてはこの限りではありません。
- 休診日 / 土・日曜日・祝日及び年末年始(12月29日～1月3日) ※移植後フォローアップ外来・糖尿病療養指導外来・専門外来・セカンドオピニオン外来・マルチモビリティ外来については完全予約制となっております。事前に電話確認をお願い致します。\*不在予定医師につきましてはお電話またはホームページにてご確認ください。

## 患者さんのご紹介について

- STEP ①** 予約センター(専用TEL:0120-680-704)へご連絡ください。  
患者さま氏名・生年月日・ご連絡先・希望診療科をお尋ねいたします。
- STEP ②** 希望医・希望日時に合わせて紹介先診療科の新患空予約枠をお取り下さい。
- STEP ③** 後程、情報提供書のFAX(専用FAX:0120-334-476)をお送り下さい。

※ただし、一部の診療科(血液内科、不整脈治療科、眼科)は除きます。 ※検査などの関係で、予約日の変更依頼を当院から直接患者様へご連絡する場合がありますこと、内容によって院内の他診療科へ予約変更させていただく場合がありますことをご了承ください。 ※緊急性がある場合には、各診療科医師へ直接お電話ください。

**予約センター 専用TEL 0120・680・704 専用FAX 0120・334・476**  
受付時間:月～金9:00～17:00(祝日・12月29日～1月3日を除く)



独立行政法人国立病院機構 鹿児島医療センター

〒892-0853 鹿児島市城山町8番1号 TEL:099(223)1151・FAX:099(226)9246

ホームページ <https://kagomc.hosp.go.jp>

